

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー第2580地区

ガバナー月信

MAY 2020 VOL.11



国際ロータリー第2580地区 ガバナー事務所

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1階

TEL 03-3538-0211 FAX 03-3538-0212

E-mail office@rid2580.org



新本 博司

国際ローター第 2580 地区
ガバナー

那覇 RC

世界をつなごう！ロータリアン！

感染拡大防止に最大限の取り組みを

ロータリーは疾病予防や健康維持を重点分野に掲げ、創立以来、大きな貢献をしてきました。今まさに大きな危機に直面しております。即ち、新型コロナウイルス問題は一向に収束の気配を見せず、ロータリーの例会や地区の会議は休会、停止になったままです。5 月や 6 月は例会場が閉鎖され、通常の会場で例会ができないクラブもあるようです。

PETS や地区研修協議会も延期となってしまいましたので、ガバナーエレクトと次期役員が研修用ビデオを撮影し、会長エレクトのご自宅に動画と資料を郵送するといった従来と違った方式を採らざるを得ない状況に追い込まれております。

ロータリーの大事な根幹である懇親が出来なくなっている状態は、大変悲しいことです。今こそ知恵を絞り、緊急事態でも Web 例会などを模索しましょう。Zoom、GoToMeeting、グーグル・ハンガアウトなどのツールを使えば、他の参加者の顔を見ながら交流でき、全員のつながりを築くのに便利です。ロータリーは、ローターアクト、インターアクト等を通じ、若い人達を受け入れる土壌を作ってきました。彼らの IT 知識を今こそロータリアンが受け入れ、活動を中断しない方法を共に考えましょう。

既に地区青少年交換委員会・地区ローターアクト委員会は、学生とのコミュニケーションを、Web 上で行っていると聞きました。来日学生の見送りが Web 上で行われるということまであったそうです。

地区米山奨学委員会は、米山奨学生オリエンテーションを Zoom を使って実施しました。初めての試みでしたが、日本、台湾、ミャンマー、韓国、ベトナムにいる 30 名が定時にオンライン上に揃い、充実した研修を行うことができました。地区社会奉仕委員会は新旧の引継ぎ会をオンラインで行うことを予定しています。基本は集まることですが、新しいコミュニケーションツールを受け入れる良い機会かも知れません。

ちなみに先日（4/23）に東京紀尾井町 RC のオンライン例会に 50 名の仲間と共に参加しました。IT に不慣れで不安でしたが、画面で全員のお顔を見ながら近況報告などに接し、楽しい例会でした。東京丸の内 RC のオンライン例会では次期地区幹事が卓話をしたそうです。東京練馬中央 RC では臨時理事役員会をオンラインで行うなど、多くのクラブがオンラインでの会合を取り入れる努力をしております。IT 時代にふさわしい新しい試みで、皆さんのクラブでもぜひ参考に、理事会決議等で検討していただきたいと思います。自分や家族、仲間が感染してしまってもできません。まずは感染防止に積極的に取り組んで一日も早く終息させることです。

職業奉仕を発揮しよう

ローターは本来、職業人の集まりです。特に日本のローターは「職業奉仕」こそ根幹だと唱えてきました。社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕は、その幹から伸びる枝であり果実です。今、新型コロナウイルス騒動で多くの企業で業績が悪化し、事業継続に支障が出ています。まずは今こそ職業奉仕の理念を実践し、体力を維持することを最優先すべき時だと思います。過去の歴史を振り返ってみても、自然災害、疾病発生、戦争等乗り越えてきました。これこそがローターの職業奉仕そのものです。また長期化が予想される中、我々ロータリアンはここで止まってしまうず、奉仕活動を続ける必要があります。

人は職業を持って初めて自立すると言えます。幸いにして職業によって豊かになったロータリアンは、一層奉仕に励み、奉仕する喜びを伝えて行かねばなりません。ロータリアンを続けるのが難しい方も出て来ました。年度の節目、6 月末での退会者が増えることが予想されます。奉仕をする喜び、ロータリアン同士が交流する楽しみを伝えられなければ、ローターは衰退してしまいます。

新型コロナウイルスによって国や地域や人の間で分断が起こり、新しい差別が生まれております。ロータリアンは、奉仕によってこの分断や差別に立ち向かう必要があります。今出来ることを、皆で考えましょう。新しいツールを使って、連絡を取り合い、行動に移しましょう。

リーダーシップを発揮しよう

よくご存じのように、ローターには中核的価値観が 5 つあります。奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップです。いずれも大事な価値観ですが、今回のような国難ともいえる非常事態においては特に「リーダーシップ」が重要ではないでしょうか。リーダーシップを発揮するにはまずは適時、適切な状況判断が必要でしょう。誤った判断は勿論のこと、タイミングを失ってもいけません。容易なことではありませんが、しっかりとした意思決定をして行動することが大切です。

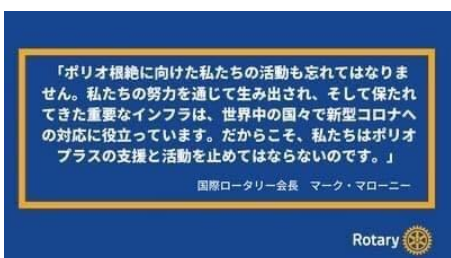
仲間と共に

当地区には 3,000 名余の会員が所属しています。私たちは多くの仲間と囲まれ親睦を深めて活動しています。地区では国難とも言えるこの時期、他の地区とも協力し合って医療崩壊を止めるためにもフェイスシールドを東京都と沖縄県の医師会に寄贈すべく皆さんにご協力をお願いしているところです。地区補助金を使い、東京都医師会に約 8,000 個、沖縄県医師会に約 2,000 個の寄贈を今月中に行いますが、皆様から支援金により追加の寄贈をする計画です。東京北 RC は台北北区 RC と合同でフェイスシールド 2,000 個を東京都看護協会（新宿区）に寄贈したそうです。東京江北、東京足立、東京葛飾 RC の 3 クラブや東京練馬中央 RC も独自のフェイスシールド寄贈を計画していらっしゃるかと伺っております。一日も早く平和の日が戻ってくることを願って力を合わせて乗り切っていきましょう。



マーク ダニエル マローニー 国際ローター会長

ジケーターRC



新型コロナウイルスおよびポリオ根絶活動への影響に関する ローターの声明

ポリオとの闘いに対してロータリアンが強いコミットメントを保ち、これまでの成果を水の泡としないことが何よりも重要です。

執筆者 Rotary International 3 月. 30, 2020

<https://www.endpolio.org/ja/xin-xing-koronavirusuoyobiporiogen-jue-huo-dong-henoying-xiang-niguan-sururotarinosheng-ming>

世界のどこであろうと、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響を受けていない人は誰一人としていないようです。ワクチンがまだ存在しないウイルスのパンデミック（世界的大流行）に直面する今、ポリオ根絶活動をどのように続けたいのかと考えているロータリアンもいるでしょう。ひと昔前、世界はポリオウイルスによって同じような状況に直面していました。

新型コロナウイルスのパンデミックに対応するには、全世界の連帯、そして世界規模の緊急活動が必要とされます。既に数千人の従事者を有し、研究所と監視システムの大規模ネットワークを備えた世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）は、各国での対応支援のためにこのリソースを活用できるようにする道徳的義務があります。

世界公共保健における結束がかつてないほど強まる中、ロータリアンが構築を支援してきたポリオ根絶のインフラが、多くの保健ニーズだけでなく、新型コロナウイルスへの対応と拡大抑止のために既に活用されています。ポリオ根絶の従事者と資産が重要な存在となっているナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンでは、GPEI パートナー団体の全スタッフが、監視、保健従事者の研修、感染経路の追跡にあたっています。また 13 カ国で、新型コロナウイルスの対応と対策のために、ポリオ根絶活動のボランティアが配置されています。

ローターは、新型コロナウイルスによる緊急事態がポリオ根絶プログラムの一部に影響を及ぼしていることを認識しています。現在直面する新たな課題に取り組むと同時に、最も重要なのは、すべての子どもに安全にポリオワクチンを投与できるよう、ポリオ根絶へのコミットメントを維持し、今年度のファンドレイジング目標である 5000 万ドルを集めることです。新型コロナウイルスの影響により、ポリオ根絶に対する注目が逸れることは理解しています。だからこそ、ポリオとの闘いに対してロータリアンが強いコミットメントを保ち、これまでの成果を水の泡としないことが何よりも重要です。

ポリオ根絶活動へのコミットメントを維持することが必須です。ポリオ根絶の取り組みが新型コロナウイルスへの対応をどのようにサポートしているかを、[こちらからご覧ください](#)。ポリオ根絶のための[ご寄付はこちらから](#)お願いいたします。



若林 英博

ガバナー補佐

中央分区

東京麹町 RC

中央分区担当、東京麹町 RC 所属の若林英博です。担当クラブは千代田区の東京 RC、東京神田 RC、東京麹町 RC、東京紀尾井町 RC、東京お茶の水 RC、東京丸の内 RC です。

東京 RC は今年 10 月に 100 周年を迎え竹中会長の下、記念の活動を準備されているとお聞きしております。日本のローターのリーダーとしてこれからもその歴史と優れた人材、質量ともに他を圧倒するパワーで奉仕活動に邁進していただくようお願いいたします。例会の卓話に於きましては多彩な講師を招聘して極めて充実した時間を持たれています。

東京神田 RC は香取会長の下、基本的に神田という土地に根差した活動をされていますが、東北支援で気仙沼や大船渡の学園支援、台北安和 RC との国際交流なども活発です。さらに例会を充実させてクラブの活性化と親睦を図られています。

東京麹町 RC は昨年 50 周年を迎え、佐藤会長の下、会員一同気持ち新たに奉仕活動を続けています。ポリオ根絶活動の発祥に寄与したクラブであり、引き続きポリオをはじめバリ島口唇口蓋裂治療支援活動を準備しています。「子ども食堂」支援では姉妹クラブの福島南の協力で福島の商品を送っています。会員が微減しているところが気がかりです。

東京紀尾井町 RC は奥寺会長の下、会員数が 80 名近くまで増強され、さらに活発な女性会員も多く、地区一番の活性化しているクラブだと思います。スローガンは「ローターを楽しもう」です。各世代がまんべんなく在籍してバランスよく、増強目標は 100 名です。増強のノウハウを地区へ流していただく予定です。研修や RLI にも積極的に参加されています。

東京お茶の水 RC は永井会長の下、「ローターの原点に立ち返ろう」をスローガンに、社会奉仕では子ども食堂、国際奉仕では RI 会長のテーマに沿って発展途上国への支援を模索されています。クラブ会員の高い参加意識と、地域貢献活動の強い連帯感が特徴です。

東京丸の内 RC は半期で会長と幹事、又相当の数の会員が退会しましたが、前年会長（創立時会長）の尾崎さんが先頭に立ち現在計 9 名の会員で運営されています。これからは仲良く、楽しい活動をお願いします。まずは 9 人の結束です。足場を固めてから奉仕活動を始めてください。

さて新型コロナウイルスは収束が不確実ですが、年度の残り時間はまだ少し有ります。各クラブスタッフはこの待機の間次奉仕活動をぜひとも練ってください。目標が決まりましたらその情報を公開していただき皆で共有しましょう。そしてより良い社会を作っていきましょう。「ローターは永遠です」

最後に、分区幹事の吉田弘和君には何時も適切なアドバイスをしてくれました。心より感謝します。



佐藤 文則

ガバナー補佐

中央分区

東京四谷 RC

「新宿 5 クラブにみる会員増強と共同社会貢献」

担当させていただいている新宿区の 5 クラブは東京西北 RC を親クラブとした「親・子・孫」の関係で、親睦活動は勿論のこと、各クラブの特性を活かした社会貢献プロジェクトを共同で推進するなど、クラブ同士が互いに協力を惜しまないグループ構成になっています。

今年度は、同じ中央分区の若林英博ガバナー補佐が傘下の 16 クラブに発信してくださったアンケート調査を参考に、新本ガバナーの各クラブ公式訪問の際に、そのクラブ協議会の席上では主に会員増強の工夫について皆様にお話を伺いました。その中で印象的だったのは、新宿の各クラブは日頃の増強努力に加え、年に 1、2 回の「オープン例会」を開催していることです。各クラブとも多彩な催事企画で、ローターの「クラブとしての魅力」を楽しく訴えかけ、会場にはローターの多岐にわたる社会貢献活動を提示して、ローターの活動にご理解をいただいています。各クラブが、その個性に合わせた「オープン例会」を開催して、入会候補者へのフォローを続け入会に漕ぎ着ける努力をしています。勿論、それだけではないと思いますが、東京西北 RC では今年度 5 名、他の 4 クラブと合わせて新宿グループで 10 名(2020 年 3 月現在)の会員増強に成功しています。

他方、新宿区の 5 クラブには、今年度から名称を新たに「新宿 5 クラブ共同社会貢献プロジェクト推進専任委員会」が共同社会貢献事業の提案と活動を行なっています。委員長は高橋一博さん(東京新都心 RC)、幹事は長尾進也さん(東京新宿 RC)です。各クラブからは、2 名の専任委員が加わり委員会を構成しています。設立の経緯は、各クラブが新宿区内で個別の地域社会貢献活動を実践する一方で、クラブ単独よりもインパクトのある活動が可能で、ローターの公共イメージの向上につながるだろうと数年前の会長・幹事会で決定したことが始まりです。資金的にも毎年各クラブが活動資金を供出して今日に至っております。

現在は、新宿区社会福祉協議会に車椅子を寄贈する事業や「ローター-新宿 5 クラブカップ U-15 サッカー選手権」の冠スポンサーとしてトロフィーやカップ、サッカーボールの提供、新宿区内にある社会福祉法人二葉乳児院に各クラブが交代で紙おむつを寄贈する事業を行なっています。委員会の専任委員からは、今後の活動計画案が出され新宿 5 クラブの会長・幹事会の承認を待っているところです。この活動が、新宿区内でのローターの公共イメージ向上につながることを楽しみにしています。



小林 力

ガバナー補佐
中央分区

東京セントラルパーク RC

今年度ガバナー補佐を拝命し、担当させていただいた中央分区の城北 5 クラブの印象を述べたいと思います。

【東京城北ロータークラブ】

半世紀を超える歴史があり、古参としての格式を感じさせるクラブです。奉仕活動に対する意識が高く、石巻前網浜地区への支援プロジェクトや、練馬区小学校での作文コンクールなど幅広い奉仕活動を行っています。

【東京練馬西ロータークラブ】

今期創立 35 周年を迎えるにあたり、記念事業として地域の小学生を対象に「昆虫」を題材にしたイベントを企画しました。このクラブの一番の特徴は、会員が伝統を重んじ相互の協調性を大事にするところだと思います。

【東京練馬中央ロータークラブ】

会員数は 25 名で少人数クラブではありますが、少人数ならではの小回りの良さや纏まりの強さがあります。それ故に多種の同好会が運営され、会員同士の絆の強さを感じます。

【東京御苑ロータークラブ】

過去にいくつかの苦難や試練がありましたが、それを糧にやっとな来のロータークラブらしい組織運営が進んでいます。そして今期を「立直しの年」と位置付け、積極的な改革を図ってきました。今後のクラブ運営に大いに期待したいと思います。

【東京セントラルパークロータークラブ】

次々年度に創立 40 周年を迎えます。会員数 32 名の平均年齢が 56 歳で、アクティブな若い会員が多く同好会活動も盛んです。会員は世代を超えて仲が良く、またローター意識も高いので、奉仕活動においても親睦活動においても積極的に参加しています。

以上、ガバナー補佐として各クラブを年間 5 回程度訪問させて頂き、回数を重ねる度に親しさを覚え、楽しく会話をさせて頂いた中で、私の受けた印象です。

そして 2 月に沖縄地区大会を今までにない充実したスケジュールで成功裏に終え、今年度もあと 2 か月を残すだけとなった時期なのですが・・・

いま私たちは「新型コロナウイルス」に襲われています。緊急事態宣言が発令され医療崩壊が心配される中、私たちの日常生活が様変わりしています。ロータークラブの予定も大きく変わり、6 月の国際大会をはじめ、予定されていた会合やイベントがことごとくキャンセルになりました。各クラブが例会の開催に苦慮しこのままでは会員維持はもとよりクラブの存続すら危ぶむ声も聴かれます。一生懸命やってきた今期の活動がコロナのせいで尻切れトンボ状態で終わって良いのでしょうか？こんな時だからこそローターにできることがあると思います。皆で知恵を出して考えコロナと闘いましょう。



小出 豊

ガバナー補佐
北分区

東京本郷 RC

「1 年間を振り返って」

北分区ガバナー補佐は、前年度と同様に 3 名のガバナー補佐が任命されました。私の担当は、東京北 RC、東京小石川 RC、東京上野 RC、東京後楽 RC と私の所属する東京本郷 RC になりました。まず、ガバナー補佐 3 名のコミュニケーションをはかり、情報を共有することが大切だと思い、毎月会合をもち情報の交換をして参りました。

今年度 R I 会長マーク・ダニエル・マローニー氏は、2019-2020 年度のテーマとして「ローターは世界をつなぐ」を掲げられました。地区ターゲットを新本ガバナーは「奉仕の実践/平和で明るい未来」とされました。

各クラブにアンケートを行い、事業計画書を拝見することが、各クラブの活動を理解することにも大変役立ちました。各クラブの訪問を通じて大変多くのローターのメンバーとお会いすることができ、また、奉仕活動に対する思いを理解することができ大いに役立ちました。

各クラブにおいて、会長・幹事がリーダーシップを発揮して地域社会のニーズを掘り起こし「奉仕の実践」を行っています。ガバナー公式訪問やガバナー補佐のクラブ訪問を通じて感じたところです。奉仕の実践をいかに公共イメージの向上につなげることができるか！が今後の課題と思われれます。

また、各クラブの課題は会員増強にあると思います。会員増強委員会の設置、委員の継続、女性会員の入会等検討されています。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYL A の参加等を通じて各クラブは会員拡大をはかろうと考えています。

会長・幹事会は、16 クラブの活動内容を知る上でも大変参考になります。会長幹事同士の懇親を図り各クラブとのつながりが更に深まるのではないのでしょうか。

第 1 回は 2 クラブ、第 2 回は 10 クラブについて各クラブの活動状況及び課題を報告していただきました。第 3 回は、残念ながら中止とさせていただきます。

北分区合同例会（I M）は、16 クラブが集まり、研修・交流・情報交換のできる出会いの場でもあります。親睦を図り奉仕活動への理解を深めることができたと思います。16 クラブの会員が集まる機会も少ないと思います。I M をいかに運営するかで親睦の深まりも違ってくると思います。

新型コロナウイルスが、社会・経済活動に大きな影響を与えています。また、ロータークラブもこの影響を受けて例会を休会としています。今年は、多くの周年行事も中止となっています。新型コロナウイルスが、一日も早く収束し各クラブの皆さんにお会いできることを楽しみにしております。



猪飼 昭彦

ガバナー補佐
北分区

東京板橋セントラル RC

『皆様こんにちは！！』ガバナーより①担当クラブ訪問及び②一年を振り返っての報告をせよとのご下命を頂きましたので、寄稿させていただきます。まさかこの原稿を書いている時に緊急事態宣言なるものが宣言され実行されているとは、驚きと同時に残念でなりません。世界中の人々が大変な事態になっている現況から一日でも早く脱出できる事を心から願いながら寄稿致します。

・担当クラブ訪問 7月30日(火)東京板橋 RC キャッチコピーは、「仲間と集い、心を合わせ、地域と共に未来へ奉仕するクラブ」です。クラブのガバナー公式訪問時の恒例で、全員スーツ、ネクタイ着用でしたので、私も「かりゆし」でなく、スーツで出席しました。「生かされている感謝を、奉仕と仲間に」を掲げられ、Tokyo Itabashi Rotary Club から TIC48（48人の会員に！！）を目標にされていました。

・8月8日東京池袋 RC。キャッチコピーは「貴方と新世代を育てる東京池袋ロータークラブ」です。クラブ内だけでなく、地域社会での親睦を目指しますとの事。1959年創立と、非常に歴史あるクラブで、会員は高齢化しているが、高齢化が問題なのではなく会員減が問題なので、会員の結束を図り増強したい、との考えをお聞きしました。

・10月18日東京板橋セントラルの RC。キャッチコピーは、「いつも 楽しく 仲よし クラブ」です。外部に対してローターの奉仕活動についての発信、クラブとして長期的な奉仕活動を模索したいと聞きました。35歳の若い方が入会し、今後も会員増強を図りたいとの事で、期待しております。

・10月28日東京池袋西 RC。キャッチコピーは、「風通しの良い クラブ」です。HP や SNS を利用した広報活動や、会員候補者リストを作成しオープン例会等に招待するなどの工夫をされていました。

・12月25日東京豊島東 RC。会長年度方針は、「世界で良いことをしよう」です。明るい挨拶と笑顔が絶えない例会と会員同士が敬意を払い尊重し合っている、品格ある大人の雰囲気誇るクラブでした。

・1年を振り返っての感想としては、故佐藤千壽様の遺稿の内容を再確認させて頂いた1年間でした。『他(ひ)人(と)の金で奉仕をするという虚構』の話です。(1)自分の金を自分のために使う時（使い道については多少恥ずかしい事があっても良心にそむかぬ行動なら許される）(2)自分の金を他人のために使う時（相手が犯罪人でない限り全く良心には痛みはないし、寧ろ誇りにして良い）(3)他人の金を自分のために使う時（通常の人なら恥ずかしいし良心的にも痛みを覚える）(4)他人の金を他人のために使う時（虚栄心を増長させ、それにつれて良心も麻痺する）

以上の様な次第だが、この他人(ひと)の金を使う時の精神状態に於て(3)と(4)が連動すると自己顕示欲のみ肥大して結局犯罪行為にまで及ぶ危険がある。但し、「他人(ひと)の金を他人(ひと)のために使う」にしても少数の個人が金を集めて、これを誰かお互自分達の知っている人に託して使う、という場合には、金の出し手と受益者と受託者との関係が濃密である。お互いに顔が見えている。だから何も問題は起こらない。問題が発生するのは、そういう善行を志す人々の組織が大きくなり、顔の見えない仲間が主体性を持つ様になった時である。との話です。

一年間ありがとうございました。感謝申し上げます。

今は STAY HOME！！



遠藤 憲治

ガバナー補佐
北分区

東京リバーサイド RC

「担当クラブを訪問して」

東京王子 RC は、次年度 60 周年を迎える歴史あるクラブです。今年度は、小澤会長の「思いをつなぐローター」のテーマのもと、国連が策定した「SDGs」を参考に地域の問題解決に取り組んでおります。特に行政、諸団体との繋がりが、強いクラブです。青少年・社会奉仕活動では「こども食堂」の支援をしており、タブレットを 5 台寄付して、その指導も行っていきたいと語っておりました。

東京浅草ク RC は、創立 56 年のクラブですが、今でも会員が 80 名位を擁する大きなクラブです。今年度は、中川会長の「浅草ロータークラブの良さを再認識しよう」をテーマに、クラブの充実、そして 9 名の委員を地区に派遣して、地区との連携を図っております。特に会員のご子息、ローターアクトのローター入会を推進するため、衛星クラブ「東京浅草フロンティアロータークラブ（仮称）」の設立を検討しているとのことで大いに期待しております。

東京荒川 RC は森永会長の「スマイルローター・スマートローター」のテーマのもと、今年度 50 周年を迎え、新しい時代に向けたクラブの改革を目指しております。歴史あるクラブはどこでもそうですが、会員の高齢化は避けられません。そういう中、東京荒川 RC では、色々と会員増強に工夫を凝らし、少しずつですが着実に会員を増やしていることに期待しております。

東京浅草中央 RC は潮田会長のもと「温故知新 ローターを学びましょう。そして美しいクラブ“浅草中央”の実現を！」をクラブテーマに、訪日來訪客で賑わう（現在はコロナ、オリンピック延期の関係で様相が変わっておりますが）浅草を地域として活動しています。会員もここ 3 年で 10 名を増員して、担当クラブ内では平均年齢が一番若いクラブとなっております。4 年前にローターアクトクラブを立ち上げ、また毎年震災復興応援事業として福島県いわき市の高校生フラダンスチームを招待して「フラフェス in 浅草」を開催するなど青少年奉仕事業に力を入れています。

東京あすか RC は、会員の減少から昨年度より検討を重ねた結果、2019 年 12 月末をもって誠に残念ですが解散となったことをご報告いたします。

東京リバーサイド RC は、北分区の中では二番目に新しいクラブですが、それでも 20 年が過ぎ、創設時からやってきた「北豊島学園のインターアクトクラブ」も学校側の事情で解散となり、「オオムラサキを荒川の空に飛ばす会」事業も曲がり角に来ております。小川会長の「さらなるつながりを！」のテーマのもと次につながる事業の構築に挑んでおります。



齊藤 榮一

ガバナー補佐
東分区

東京城東 RC

『東分区ローター活動に寄せて』

新本ガバナー年度も終盤に入りました。各クラブでは、如何にローター活動を展開なさっていらっしゃいますか。この2ヶ月余り、世界各国で見られる新型コロナウイルス禍が猛威を振るい WHO でもパンデミックを宣言され我が国においても感染者が拡大し続け収束の見通しがたない状況にある中で、各ロータークラブ活動、特に奉仕活動が停滞、進行が遅れているのではと察しています。しかし、その中で各クラブ運営を担っていらっしゃる会長、幹事、理事役員の皆様の御苦勞は計り知れないものがあつたと思っており、ローターが存続し、継続し続けられるのも、皆様の御苦勞の賜物と思っております。

私は東分区の3人のガバナー補佐の1人として、東京東 RC、東京江東 RC、東京城東 RC、東京向島 RC、東京ベイ RC の5クラブをこの一年間新本ガバナーの御指導の下、担当させて頂きました。この5クラブは、各クラブ各様に特徴を持ちユニークなクラブ奉仕活動を行っている事を知り、クラブの歴史や特徴を再確認させて頂きました。その素晴らしい活動は、各クラブのロータリアン皆様が永年に渡り築き上げられた深みのある奉仕活動であり、継続は力なり、を思い知る事となりました。

近年のローター活動の有り方として大きく変化をしていると感じ取らせて頂いた半年でした。その1つは、ローターの広報活動の重みであります。広く多くの方々にローター活動を知って戴き、ローターを理解し、有意義な奉仕をしている団体である事を全面に出せる様になった事。これが真にローター活動が地域社会に取り入れられる、認知される様に成りつつある事であり、1つの成果として一歩、歩み出た事を意味するのではないのでしょうか。`陰徳`の活動であっても良しとされた時代から、開かれたローターで社会(世間)とともに歩むローター活動になって来た事に歓迎をいたします。地域社会においても、世界各地においても、まだまだ`手を差し伸べてもらいたい、`と思っている人達が多くいらっしゃいます。その人達に手を差し伸べる事ができる活動を、我々は活動目標に掲げて行く事が大切ではないでしょうか。その結果として活動を広く理解して戴く事が、ローターの永遠のテーマであり、ローター究極のテーマである『平和を創る』事に繋がる事でしょう。

今年度、東分区では IM を当地区内で最初に開催しました。初の試みとして`ローターデー`を IM と共に実施し、地域社会と融和をはかり、若き人達にローター活動を理解して戴くプログラムにし、地域 FM 局の応援も戴きローター理解の一片を作り上げる事が出来ました。ホストクラブである、東京江東 RC の結束力と東分区の皆様の協力の賜物でありましょう。`ポリオ根絶活動`も多くの参加者に共感を与える事ができ、さらなる発展として今年度最後のガバナー補佐活動としての`ポリオ根絶チャリティーコンサート`を6月19日(予定)に開催し、活動の資金援助を東分区ロータリアンの協力をもとに行うべく最後の活動を成功させたく思っています。



嶋村 文男

ガバナー補佐
東分区

東京東江戸川 RC

「クラブ訪問をして感じた事」

担当させていただいた 5 クラブ(東京江北 RC・東京葛飾 RC・東京葛飾東 RC・東京足立 RC・東京葛飾中央 RC)を訪問して感じた事は各クラブに違い(個性)があり、`事情、があるという事です。

もともと江戸川区のクラブに所属する僕が、隣接の葛飾区と足立区にあるクラブを担当するわけですので、友人も少なく 5 クラブの情報を持ち合わせていませんでした。しかし、この事が逆に `新しい友人、が出来るという、新鮮で嬉しい結果になりました。

初めに `事情、を知るために次年度会長に質問状を送り、クラブの特徴や心配な点、そして `会長の想い、を把握する事に努めました。そして、そのクラブに合った強調事項を含んだ卓話を行いました。最初の卓話のテーマは「インフルエンサーになろう」で、これはマローニーRI 会長のテーマや新本博司ガバナーの方針説明に合わせて `ロータリアンとして社会で良い事をしましょう、というメッセージを送りました。

クラブ運営に悩んでいる会長のクラブには「あなたはロータリアンですか？」というある意味刺激的な演題の卓話をしてメンバー全員にロータリーに入学した時の思いや、クラブ奉仕の大切さ、`寛容の精神、にも触れて、思いやりとクラブのボトムアップを目指したお話しもさせていただきました。

クラブ訪問以外にも会長・幹事を中心に 5 クラブで持ち回りの勉強会をテーマを決めて行いました。これはロータリーを学ぶと共に、同期の会長・幹事として良き友人になってほしいと願い開催してきました。

最後になりますが、ガバナー補佐として十分なクラブ支援は出来ませんが、沢山の気づきと学び、そしてロータリーの奥深さを知る事になり、担当させていただいた 5 クラブの会長・幹事、クラブ会員の皆様と分区幹事として同行いただいた橋本豊之君に感謝申し上げます。

(追記)

沖縄での地区大会が終わり、帰京する 2 月 15 日(金)に沖縄での初の `新型コロナウイルス感染者、が報告され、その後瞬間に、拡がり未曾有の大きな不安が世界を覆い尽くしています。

今こそ私たちはロータリアンとして、自分の仕事への影響を最小限にして、各人が行動を行うべきだと思います。僕は、ガバナー補佐として担当しているクラブ会長に `会長レター、の発信を奨励しました。例会が開けない今こそ、会員維持の為に連絡を取りアイデアを出し合い、新しい例会にもトライしてほしいと願っています。



田村 純治

ガバナー補佐
東分区

東京江戸川中央 RC

「ガバナー補佐に就任して」

2018-19 年度より、ガバナー補佐が東分区も 3 人制となり、今年度もそれを踏襲し、急遽東京江戸川中央 RC からガバナー補佐を出す事となりました。いろいろな経緯の末にガバナー補佐（田村）、分区幹事（皆川氏）が決定。ということで、ガバナー補佐はいったいどんなことをしているのかを参考までに記載いたします。

会長幹事会：自分が会長幹事の時は年に 6 回で年度が始まってからの会合であったと記憶していますが、どうも年々早くなっているようで、今期は半年も早い 1 月に始まりました。初回はほとんど顔合わせということで東分区 16 クラブの会長幹事から挨拶を頂きました。それぞれが個性的な挨拶で、和気あいあいとした会でありました。第 2 回から第 4 回まではすべて東分区の IM の打ち合わせがほとんどでした。IM ホストの東京江東 RC の正副実行委員長には毎回参加頂きました。時にはガバナーにも。第 5 回は東分区ガバナー公式訪問終了の日の夜に。公式日程が終了したお祝いをガバナーとともに美味しいお酒を頂きました。第 6 回は本当の打ち上げとして 6 月に予定しております。

IM：ガバナー補佐が主催のビッグイベントです。今年はローターデーを行うということで、土曜日で 11 時開催という前代未聞の設定に加えて、日程も 9 月 21 日と当地区で最も早い IM となりました。3 部制の構成としてそれぞれが担当をいたしました。ホストクラブの東京江東 RC のおかげで入念な準備がされましたが、イースト 21 にある屋外の広場をローターデーの会場にしたために当日の天候だけが気がかりでした。雨の場合の準備もしておりましたが、幸いに小雨から薄曇りとなり、無事にかつ盛況のうちに予定通り IM は進行いたしました。半年もかけて準備をしてきた甲斐がありました。

クラブ訪問：年間で 4 回訪問とのこと、これは 3 人体制でずいぶん楽になったようです。自分は江戸川区の 5 クラブに加えて新しくできた東京臨海西 RC の担当となりました。自クラブを含めた 5 クラブはよく知っている安定したクラブですので、訪問しても身内のごとく暖かく迎えて頂きました。本当に感謝申し上げます。東京臨海西 RC も会長・幹事、副会長が中心となって新人の会員を上手くまとめ上げていて、感心致しました。右も左もわからなかった 25 年前の自分とクラブの状況を思い出して、不思議な気持ちになりました。新クラブを作り、運営するというのは本当に大変なことですね。

ガバナー公式訪問：クラブにとっても、ガバナー補佐にとっても年度の最重要事項であります。今期は新本ガバナーが、できれば合同の公式訪問をとのことで、東京江戸川 RC は単独、東京東江戸川 RC と東京江戸川中央 RC は合同、東京臨海 RC と東京臨海東 RC も合同、東京臨海西 RC は単独の予定でしたが急遽臨海 3 クラブ合同となりました。3 クラブ合同は初めての試みです。3 クラブの会長幹事との打ち合わせ、クラブ協議会は東京臨海西 RC にガバナー、東京臨海 RC には地区副幹事が参加、そして 3 クラブの合同例会（すごい人数）というめちゃくちゃ

やハードなローテーションでしたが、盛会のうちに長い一日が終わりました。ガバナーも大変であったかと。

ガバナー補佐研修会：当地区 13 名のガバナー補佐を集めて、前年度の 9 月から研修会が 7 回も行われました。ローターは何ぞやということから、今までに抱えてきた様々な問題などをテーマを決めて講義を受けたり、協議したりの日です。内容はともかく、それぞれのガバナー補佐が知り合いの中間意識が発生して、話し合ううちにガバナー補佐としての自覚が出来上がってきたように思います。それはそれで有意義でありました。資料が膨大です。

地区大会：地区大会はガバナーにとって公式訪問と同じく重要なイベントです。今期は沖縄での開催でありまして、那覇南 RC がホストクラブとなり、オール沖縄ローターの協力で盛大のうちの 2 月の 4 日間、無事に終了いたしました。多くの会員の皆様の参加を頂きまして、現況のコロナ禍を考えると奇跡的にうまく終了できました。在京ガバナー補佐はあまりお手伝いできませんでしたが。すみません。

準備のころを含めてとても長い時間でしたが、あっという間の出来事になりました。ガバナー補佐という重責を務めさせていただいて、自分はどれほど成長したかという全くではありませんが、貴重な経験をさせていただいて感謝申し上げます。また東分区の齊藤ガバナー補佐、嶋村ガバナー補佐、分区幹事の皆様とは数えきれないくらいの打ち合わせを行いました。とても楽しい時間でありありがとうございました。おもいきり忙しかったのに今はコロナ禍のおかげで時間が止まってしまったかのようなのですが、6 月のチャリティーコンサートに向けて頑張ります。さらに特筆すべきは、同期の 13 名のガバナー補佐から 2 名のガバナーが誕生致しますので、これからもローターのために宜しくご協力をお願い申し上げます。



武蔵野分区ガバナー補佐としての雑感

ガバナー補佐を拝命してはや 10 か月が過ぎようとしています。この間、各クラブを訪問させていただいたり、またガバナー公式訪問に随行させていただきました。そして、改めて当分区のロータークラブの良さを感じた所があります。東京武蔵野ロータークラブが創立 60 有余年の歴史を重ね、東京小平、東京田無、東京東久留米、東京保谷、東京武蔵野中央、各ロータークラブがそれぞれの歴史を重ねて現在があることを感じた所があります。

各ロータークラブは、親睦活動、奉仕活動、2580 地区への出向と様々な活動をされ、その歴史を作り上げました。ここまでどれだけの情熱と時間と、そしてどれだけの経費をかけて来た事を思うと頭が下がる思いであります。

今年度は新本ガバナーのターゲットの一つに「不易流行で明るい平和な未来を」があります。このことについては、新本ガバナーが、公式訪問の時にクラブにお伝えしていました、「変えてはいけないもの、変えていかなければならないもの」を各クラブで考え、無駄な脂肪を取り除き、筋肉質な体質を取り戻さなければならぬと思ったところであります。

今年の地区大会を沖縄で行われた後、コロナウイルスの騒動になってしまい、3 月、4 月とローター活動は休止の状態になってしまいました。騒動が終息した頃にはガバナー補佐の任期も終わってしまうかもしれませんが、地区の研修等にガバナー補佐として参加させていただく事が多くありました。この事は、勉強になった事と多くの仲間と出会える事になり、私のローター生活が充実したものとなりました。

しかし、一方で慣れない役をさせていただき、能力以上のものを期待されて戸惑いを持ったことも事実でした。私なりに頑張ってきましたが、同じガバナー補佐の皆様や地区の役員の皆様に大変ご迷惑をおかけしたとも思っておりますが、一つだけ確信を得たものがありました。それは、ローター活動は「大人としての嗜み」であるということです。このように思った時からガバナー補佐としての役が楽になり、活動も楽しくなってきました。この思いはこれからも大事にして行きたいと思っています。

任期は少しくなってきましたが、これからも皆様の足手まといにならぬように 6 月を向かえようと思っている今日この頃であります。そして、同期のガバナー補佐の中から、次の 2580 地区を担って行くガバナーになる人が二人も選出されました。東京麹町 R C の若林英博さんと東京東江戸川 R C の嶋村文男さんであります。これから激務が待っていると思いますが、体に留意されてその大役を務めていただきますように応援したいと思います。どうぞ、よろしく願います。

鈴木 久幸

ガバナー補佐
武蔵野分区

東京保谷 RC



法理 規夫

ガバナー補佐

多摩分区

東京秋川 RC

「多摩分区 6 クラブの活動状況」

当分区で最初に創立された東京青梅ロータークラブの会長テーマは『示そうローターの力／実践しよう超我の奉仕』ということで「贈物と献身」が副題として付されていました。1963年5月に創立され今年で57年になる伝統あるクラブです。パストガバナーの小澤秀瑛先生もキーマンとして名を連ね、ロータークラブとして第一級の活動を遂行しているクラブで、40名の会員が一致団結して奉仕活動に邁進しております。

東京東村山ロータークラブは、会員数は29名の少数精鋭クラブです。会長テーマは、先人の事業を引き継ぎ、未来を切り開くという意味の『継往開来(けいおうかいらい)』でありました。今年の1月23日に職業奉仕について卓話を依頼され、非常に熱心にご静聴いただき感謝致しました。蛇足乍ら、先頃逝去したタレントの志村けん氏は東村山市の出身であったことは周知の通りです。

東京福生ロータークラブの例会は石川酒造場の新蔵で行われています。多摩分区内には、日本酒の蔵が同酒造場を含め5つあります。美味しい日本酒がおおいに楽しめる地域です。会長のテーマは『Enjoy Difference! 多様なつながりに感謝しよう』でした。40名の会員が結束して奉仕活動を展開しているクラブです。創立は1968年で、こちらも52年になりました。

東京東大和ロータークラブは、1972年に創立され、今年で48年になります。2022年2月に50年となります。地区委員会への出向は、バギオ基金支援委員会・青少年奉仕委員会・米山奨学委員会の3委員会、熱心に委員会活動を遂行し、活力あふれる奉仕活動を展開しています。会員数は3月末日現在19名です。

東京武蔵村山ロータークラブは、東京東大和ロータークラブと同じ1972年に創立され、2022年7月で50年です。昨年度ガバナー補佐を勤められ本年度も拡大増強委員並びにRLI委員の藤野豊氏が所属するクラブです。更に、資金推進委員会・学友委員会・青少年奉仕委員会の3委員会にそれぞれ1名ずつ出向されて熱心に委員会活動に参加されています。また、地区副幹事として内野均氏が勤めておられます。

最後に、私の所属する東京秋川ロータークラブについて報告します。会長のテーマは『ロータリアンの誇りをもって貢献しよう。わくわくするローターをめざして』です。クラブのテリトリーは、あきる野市・日の出町・檜原村の三市町村で、東京の奥座敷と称される秋川渓谷は、夏ともなれば多くの観光客が訪れます。登山やハイキングを楽しむ人も多く、東京とは思えない自然環境に恵まれた地域です。46名の会員は様々な場面で地域の方々と手を携えて社会貢献活動に勤しんでいます。



宮城 富夫

ガバナー補佐

沖縄分区

宜野湾 RC

2019-20 年度沖縄分区のガバナー補佐として、1 年近くが経過しましたが、これまで取り組んできた事を記したいと思います。

先ず、ホームクラブにおけるロータリアンの中にはガバナー補佐（AG）の役割について周知されていない方が多いと感じ、その役割 {地区ガバナー（DG）と RI 会員であるクラブのパイプ役として補佐する} を各クラブへの就任挨拶時に説明し、そして DG の役目、重要性、多忙さの認識をもってもらうことでした。

特に近年 RI が強調している「公共イメージ向上、ロータリーデー」の新規取り組みについて説明、推進する。また新本 DG のターゲットの一つである時代の変化とともに課題となっている「不易流行」へ理解、「変えるべきもの、変えてはならぬもの」の対応など。

AG の分区の役割としては、分区大会（IM）のテーマを DG の方針「奉仕の実践」の原点として、各クラブの奉仕活動状況の発表会を行いました。参加者多数から「自クラブでも参考に組みたい」と好評頂きました。そして、在京からも遥々宮古島まで多くの方が参加されたことに厚くお礼申し上げます。

沖縄分区の課題として、分区予算と地区青少年交換プログラムがありました。予算編成として地区委員への旅費補助（東京会合）で、活躍する地区委員が多くなるほど資金調達負担となる。青少年交換プログラムに関してはホストファミリー引受不足でありまして、分区全体で取り組む方針もうまく機能していないことは、引き続き課題解決に努力しなければと思慮しているところです。

沖縄分区としては、SNS の LINE グループを年度前からスタートしています。「AG 分区幹事会」、「クラブ会長幹事会」、「IM 実行委員会」、「RC 沖縄」などの情報共有でして、「地区 AG グループ」などとともに迅速な対応を遂行しています。残念なことではありますが、新型コロナウイルスによる例会休会情報などへも活用されています。

AG を引受ける事によって、一年前から AGE 研修会などほぼ毎月東京詣でし、研鑽出来たことは大変勉強になり、今になって 24 年のロータリー歴に近づいた思いです。残り期間、新型コロナウイルス騒動の中？任務を一つ一つこなしていきたいと存じますので、新本 DG 共々よろしく願い申し上げます。



奥本 弘文

ガバナー補佐

沖縄分区

名護 RC

国際ローター第 2580 地区沖縄分区 2019-2020 年度ガバナー補佐を拝命しました名護ロータークラブの奥本弘文です、1996 年の入会ですからローター歴 24 年になります、沖縄分区 11 クラブのうち担当クラブはコザ RC・那覇西 RC・宮古島 RC・浦添 RC・那覇南 RC の 5 クラブです。

各クラブを訪問するにあたって、卓話の時間をお願いし担当クラブを訪問してきました。卓話の内容は自己紹介の後、ガバナー補佐の役割として「ガバナーを援助することによって、担当クラブの効果的な運営をサポートする」事を説明し、各クラブの特徴、問題点などを話し合ってきました。それから 10 月の沖縄分区 IM in 宮古島、2 月の沖縄で開催の地区大会、6 月のホノルル国際大会（残念ながら中止になりました）呼びかけ、クラブの状況について、把握では以下の内容を討議しました。

1. 会員増強の現状
2. 職業奉仕の考え方 理論的 実践していること
3. 社会奉仕活動の現状
4. 国際奉仕活動の現状
5. 青少年活動

担当クラブの宮古島 RC は少ない人数で IM をできるか心配でした、9 月にリハーサルするので来てほしいとの要望で IM の事前打ち合わせ・リハーサルを行いなんとか無事成功裏に終わることができました、松原会長・下地実行委員長及びクラブのメンバーが一丸となって頑張った結果だと思います。

ガバナー公式訪問で担当クラブを回り、無事終了することができましたが、会長・幹事との事前打ち合わせでは各クラブの問題点も色々できました。

新型コロナウイルスの関係で今後の日程を組むことができず、報告もここまでとします。

その他ご報告

青少年交換学生帰国のご報告

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るう様になり、留学生達の帰国にも障害が生じる可能性を考慮して、来日生・派遣生を帰国させました。来日生を帰国させることになったのは、東北大震災以来のことです。母国や日本が入国制限をし、航空券の確保も乗り継ぎも難しくなる見通しの中、滞在ビザの有効期限内に帰国させるために、早い時期での判断をいたしました。現在アプリケーションフォーム、ギャランティーフォームのやり取りをしている最中ですが、次年度の交換も予定通りには行きそうにありません。非常に残念なことですが、暫くの中断を余儀なくされましたことを、ご報告申し上げます。コロナが収束しましたら、この重要な RI プログラムを直ぐにでも再開出来る様、委員会に準備しておいていただきます。

ローターアクト委員会のご報告



ロータークラブがこれまで地域社会、そして国際交流に大きな貢献してきたことは、論を待ちません。しかし、全世界を見ても会員数が伸び悩み、日本国内では近年下げ止まったとはいえ、ここ 20 年で大きく会員数が減少し、また会員の平均年齢が高くなっています。

ご存じの通り、ローターアクトクラブは 18 歳から 30 歳までの青少年を対象とした、国際ローターが 1968 年に認定した青少年奉仕プログラムです。現在、世界 184 カ国に 1 万以上のクラブがあり、25 万人の会員がいるとされています。このローターアクトの若いメンバーは身近にローターを感じ、その奉仕活動に共感を持っている、私たちロータリアンに一番近い存在です。彼らをもっとローターに近づけたい、いや、ロータリアンにしてみよう、という決定が 2019 年の国際ローター規定審議会と、それに続く理事会で行われ、2020 年 7 月 1 日から次のように変わります。

まず、国際ローターはロータークラブの集合体として定義されてきましたが、これにローターアクトクラブが加わります。逆に青少年奉仕プログラムとしてのローターアクトクラブの定義は削除されました。つまり、RI の中ではロータークラブとローターアクトクラブは同格、という位置づけになります。その結果、これまでロータークラブだけがローターアクトクラブを提唱できる、とされていましたが、ローターアクトクラブも新しいローターアクトクラブを提唱できるようになります。ロータークラブとローターアクトクラブの関係は、ロータークラブの親子関係と同等になります。また、これまで 18 歳から 30 歳とされてきたローターアクトの年齢制限も、「18 歳以上の若い成人」という制限に変更されました。その中で年齢制限については各ローターアクトクラブで自由に決めることができ、とされています。

逆に、これまでローターアクトクラブは設立時にのみ RI に 50 米ドルを納めていましたが、2022 年 7 月からはこれが廃止され、ローターアクトクラブメンバー全員が人頭分担金（大学基盤クラブは 1 人 5 米ドル、それ以外は 1 人 8 米ドル）を納めなければなりません。さらに、すべての地区委員会にローターアクトをメンバーとして加えることが、ローター地区に推奨されます。そして、RI は今後の目標として 2022 年までにローターアクトの数を倍増させ、ローターアクトからローターに移籍する数を 20%増やす、そして 2029 年までにローターアクトの数を 100 万まで増やす、としています。

さて、それはさておき、ローターアクトクラブを提唱されているクラブの会長、幹事、青少年奉仕委員長の皆様にお願ひがあります。ローターアクトクラブは 7 月から自分たちのクラブを運営するための細則を検討して、決めていかなければなりません。皆様からローターアクトに声を掛けていただき、その決定を見守り、そしてクラブ理事会で承認してあげていただきたいのです。皆様のローターアクトクラブが今後も元気に活動を行くにはどのような細則が望ましいのか、彼らの意見を踏まえながら、クラブの実情に合った細則を作るお手伝いをお願いしたいと思います。

今般の新型コロナウイルスの影響でクラブ例会も行えず、様々な支障もあろうかと存じますが、皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

(参考) <https://my.rotary.org/ja/recent-rotaract-policy-updates>

次年度ローターアクト地区代表からのメッセージ

皆さまこんにちは。2020-2021 年度 地区ローターアクト代表を務めさせていただきます鈴木宏美と申します。

次年度の地区ターゲットを「Club First」と掲げました。ローターアクト活動の根幹は、自クラブの活動だと考えます。各クラブの運営の一助となるような地区運営を行ってまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

さて、昨今ローターアクトの環境は目まぐるしく変化しております。まず 1 点目は、新型コロナウイルス感染拡大による地区行事、クラブ例会の相次ぐ中止についてです。本年度の地区行事は Web 会議システムを導入し、第 3 回会長幹事会（2020 年 4 月 18 日）を開催致しました。また各クラブ例会についても続々と Web 会議システムを使用し、例会を開催するクラブが増えております。また 2020 年 6 月 20 日（土）の当地区ローターアクト年次大会もオンラインにて開催することとなりました。ローターアクトの年次大会は、1 年間のクラブ活動報告の場となります。一生懸命、各クラブ準備を進めております。皆様とオンラインにてお会いできることを心よりお待ちしております。恐らく次年度も例会・会議のオンライン開催が続くと考えております。厳しい環境下ですが、ローターアクトはできる事を模索し、挑戦し続けたいと考えております。

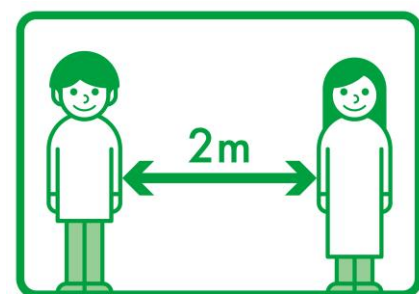
2 点目は、ローターアクト年齢制限撤廃についてです。平井地区ローターアクト委員長代行よりご説明を頂きましたが、18 歳から 30 歳とされてきたローターアクトの年齢制限が「18 歳以上の若い成人」という制限に変更されました。クラブごとに、ローターアクトの運営や活動状況が異なるため、それぞれ細則を設けてより良いクラブ運営・体制づくりのため、準備を進めております。

ローターアクトの年齢制限がなくなることにより、みんなが集まり力を結集するからこそ生きる奉仕活動の輪が広がると考えております。私自身、20 歳で東京ワセダローターアクトクラブのチャーターメンバーとして入会させて頂き、クラブや地区活動を通じて数多くのかけがえのない仲間と出会い、少しずつ理解を深めてきました。ローターアクトでは、時には真剣にぶつかり合い意見が衝突することもあります。しかし、クラブ例会や地区行事を仲間と 1 つずつ手作りする中で生まれる一体感や達成感、他のボランティア団体にはない貴重な経験と機会だと考えています。ローターアクト以外のローターファミリーとも交流の輪を広げ、この変化を楽しみながら活動していきたいと考えております。至らぬ点多々あるかと存じますが、一生懸命頑張りますので何卒宜しくお願い致します。

編集者：遠山明良(地区副幹事 東京 RC 所属)



いのちを守る
STAY HOME 週間
STAY HOME, SAVE LIVES
4/25~5/6



SOCIAL DISTANCE
距離を保とう